



除雪車両を見学する児童

—氷見市海峰小

## 一部で合併浄化槽導入

### 砺波市検討委下水道計画を見直し

砺波市下水道計画検討委員会は30日、市役所で開かれ、下水道整備基本計画を見直し、未整備地域の一部

に合併処理浄化槽を導入す

る方針を決めた。2月下旬の委員会で意見書をまとめ、3月中に夏野修市長に提出する。

未整備地域は出町(神島、

鷹栖出)、五鹿屋、東野尻、鷹栖、若林、林、高波、種田など11地区の2069世帯で、未整備率は12・4%となっている。市中心部で既に進められている下水道工事は継続し、住宅間の距離が長く、費用対効果の面で効率の悪い地域は計画を見直す。

市側は基本計画に基づき、すべての未整備地域に下水道を整備した場合の事業費は約150億円で、約30～50年の整備期間を要すると課題を示した。

委員からは「公共下水道と合併処理浄化槽の整備地域に不公平感が出ないように、補助制度を設けてほしい」などの意見が出た。